

第4学年「食育」学習活動案

授業者 足立 愛美

2月21日（金） 4階A室 9：00～9：40 話し合い（協議会） 10：00～11：45

1 題材名 自分の食をみつめて ―給食で大事にしたいことランキング―

2 題材について

小学校6年間で、子どもたちには食を楽しむ視点や、おいしいと感じる視点を増やしてほしいと願い、日々の給食や食育活動を行っている。食を楽しむ、おいしいと感じるとは、単に楽しい気持ちで食べる、味をおいしいと感じるということだけではなく、香りや温度、食感、料理の季節感や、料理に込められた意味を感じながら食べたり、食事が準備される過程のことを考えたり、誰かと食べることを楽しんだり、食べる空間に目を向けたりすることである。

給食時間に栄養教諭が4年生の教室へ行くと、「これ、おいしい!」「今度〇〇を出して!」などと、前向きな感想を聞くことができる。また、気に入った料理の作り方を栄養教諭にたずねる子どももおり、給食を食べることを楽しんでいる様子がある。しかし、子どもたちにとっては、配膳室から給食のワゴンを運び、教室で食べ、片づけて配膳室までワゴンを戻す、という一連の流れで、その前後のことを考える機会は多くない。給食をどんな人たちがどのように作っているのかを知ることは、自分が食べているものに関心をもつことや、食べる上での安心にもつながると考え、これまでも調理の映像や写真を見せながら給食室の様子を紹介してきた。給食室の様子という点、材料の多さや器具の大きさに焦点をあてることが多いが、今回は衛生面や提供時間といった視点から給食室の仕事をみつめたいと考えた。

授業では、2つの「給食で大事にしたいことランキング」を登場させる。一つは、授業者（栄養教諭）の視点から給食を提供する際に大切にしたい（している）ことのランキングである。子どもの予想と、授業者が考えるランキングを比較しながら、どのような視点で給食を作っているのかを紹介する。普段は見えない世界を知ることで、新鮮な驚きをもって自分の給食時間を振り返るきっかけとしたい。授業の後半では、前半の活動を踏まえた上で、子どもたち自身の「給食で大事にしたいことランキング」を考える活動を行う。子どもたちが考えるランキングからは、どのような価値を見出して給食時間を過ごしたいのかが読み取れる。子ども同士の考えを聴き合う時間も大切にしながら、子どもたちが給食時間をどのように過ごしていくのかを考えられる時間としたい。

3 学習活動計画（全1時間）

給食で大事にしたいことランキング …1時間（本時）

4 本時の活動について

（1）本時のねらい

- ・給食がどのような点に気をつけて作られているのかを知り、自分自身がどのように給食時間を過ごすのかを改めて考える。

（2）予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
1 栄養教諭の「給食で大事にしていることランキング」を予想しながら聞く。 ・みんなが安全に食べられること ・おいしく作ること ・季節の食べ物を使うこと	・具体例を聞き、発言した子どものイメージを全体で共有できるようにする。 ・おいしさや食の楽しみの前提として、気をつけていることがあることに気づかせたい。
2 自分自身の「給食で大事にしたいことベスト3」を考える。	・子どもたちの「給食で大事だと思うこと」を事前にも調査しておく。
3 友だちのベスト3をきき、改めて自分のベスト3を考える。	

□授業後の話し合いで話題にしたいこと

給食調理の様子を知らせることが、子どもたちの給食時間の過ごし方を見なおすことにつながったか。